第3学年3組道徳学習指導案

1.　主題名　温かい家族　内容項目4-(3)

2.　資料名　「ぼくのおばあちゃん」（出典　東京書籍「道徳3明るい心で」）

3.　本時の学習指導

（1）ねらい

　家族を敬い、家族の一員として家庭を明るくしていこうとする態度を育てる。

（2）展開

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 学習内容 | 主な発問と予想される児童の反応 | 教師の支援 | 時間 |
| 1　冬休みの経験から、家族の存在について振り返る。  2　「ぼくのおばあちゃん」を読んで話し合う。  3　家族のことについて振り返る。 | ○おおとりの時間に話してくれた冬休みの楽しい思い出はどうしてできたと思いますか。  ・旅行に行ったから。  ・学校がお休みだったから。  ・おじいちゃんおばあちゃんに会えたから。  ○おばあちゃんと習字教室に通うことになったおさむは、どんな気持ちでしたか。  ・かっこわるくていやだ。  ・習字教室に行きたくない。  ・暗い気持ち。  ○みんなに褒められるおばあちゃんを見て、おさむはどんな気持ちになったでしょうか。  ・悔しい気持ち。  ○どうしておさむはおばあちゃんの代わりに書いてあげたいという気持ちになったと思いますか。  ・おばあちゃんの元気がなくなってしまったから。  ・おばあちゃんがかわいそうだったから。  ○おばあちゃんが練習を再開できるようになったとき、おさむはどんな気持ちだったと思いますか。  ・おばあちゃんが元気になって嬉しい。  ・おばあちゃんと一緒に練習を頑張りたい。  ○家族がいてよかったなと思うのはどんなときですか。  ・家族と一緒に遊ぶとき。  ・家族が助けてくれたとき。 | ○冬休みの楽しかった思い出には家族の存在があったことを確認出来るようにする。  ○「ぼくのおばあちゃん」を朗読する。落ち着いた速さで読むことで児童が心情などを考えながら聞けるようにする。  ○それぞれの考えに正解や不正解はないことを伝え、自分の思いを友達や先生に伝えたり、友達の思いを受け止めたりできるようにする。  ○ワークシートに、家族がいてよかったと思うことについて書き込むことで家族に支えられていることに気付けるようにする。 | 3  5  5  5  7  5  10 |

4.　備考　在籍児童数　35名

5.　板書計画

ぼくのおばあちゃん

おばあちゃんと習字教室へ行く

　・かっこわるい。

　・暗い気持ち。

おばあちゃんがほめられている

　・くやしい。

おばあちゃんの代わりに書いてあげよう

・かわいそう。

・おばあちゃんに元気になってほしい。

おばあちゃんといっしょに練習

・うれしい。

・おばあちゃんと一緒に頑張りたい。